

平成 29 年度（2017 年度）

## 事業報告書

平成 29 年 4 月 1 日から

平成 30 年 3 月 31 日まで

公益財団法人 東京エムオウユウ事務局

## 第1章 はじめに

国際海運では早くから自由の原則が確立され、船の国籍を問わず国際航路に参入できるようになっています。このため、競争が激しくなるとともに、船会社は所有船の船籍をリベリア、パナマ、カンボジアなどの国（便宜置籍国）に置き、コスト削減を図るようになりました。

船の安全規制は、国際条約に基づき、船が船籍を置く国が第一義的責任を負っています。しかし、初期の便宜置籍国は条約で定められた安全・環境保護規制に十分な能力を持たず、便宜置籍国の船が世界各地で事故を起こし、油流出による海洋汚染や沈没による航路障害を引き起こしました。1978年には便宜置籍国に船籍を置く巨大タンカーが操舵装置の故障からフランス沖で座礁し大量の原油を流失、沿岸国に多大の被害をもたらしました。

事故の影響を被った欧州各国は、寄港する外国船の安全性を確認する必要があるとの認識を持ち、Port State Control（PSC；寄港国検査）と呼ぶ立入検査で確認しようとした。ただし、PSCの実施には次のような問題がありました。

1. 近隣の港湾間で、不適切な競争を招く恐れがある。例えば、A港が厳しく、隣接するB港が安易なPSCを行えば、船はB港に流れる。
2. 船側にとっては、寄港国毎に立入検査されれば円滑な運航ができない。

これらを解決するには、一定地域において統一的手法でPSCを行うとともに、ある港のPSCで優良船と判定されれば一定期間は近隣港ではPSCを行わない等、一定地域での国際協力が必要になります。このため、欧州各国は、1982年にパリで「PSCに関する地域協力に関する覚書(Memorandum of Understanding)」(パリMOU)を採択しました。パリMOUにより欧州ではPSCが組織的に実施されるようになり、国際基準を満足しない船（サブスタンダード船）が減少しました。

国連の専門機関である国際海事機関（IMO）は、パリMOUの成果を踏まえ、他の地域でも同様の措置を講じることを促すため、「PSCに関する地域協力の促進に関する総会決議」を1991年に採択しました。これを受け、日本がイニシアチブをとり1993年に東京で「アジア太平洋地域におけるPSCの地域協力に関する覚書」(東京MOU)が採択されました。現在、日本、中国、韓国、オーストラリア等の20の国・地域が東京MOUのメンバーになっています。

PSCの地域協力を実効あるものとするには、PSCに関する統一的手法、情報共有化、情報公開などに関する詳細を定めなければなりません。これには、加盟当局間の意見調整が必要になります。また、統一的手法の徹底や情報システムの円滑な運用には、PSC関係職員に対する研修やセミナーが必要になります。

本財団は、東京MOUメンバー間の意見調整などを円滑に実施できるようにするMOU事務局事業と各国PSC関係職員の研修等を企画・実施する研修事業を行っています。なお、アジア太平洋地域には発展途上国も多く、東京MOUにより多くの国が参加できるように日本の民間資金を活用し各国の資金負担を軽減しています。

## 第2章 事業報告

### 1. MOU事務局事業

- 1) 東京 MOU には各国の PSC 当局が加盟しており、PSC 当局責任者の会合である PSC 委員会をほぼ毎年 1 回各国持ち回りで開催しています。本財団は、PSC 委員会の事務局の役割を担っており、委員会開催の日程調整、提案文書の回章、事務局提案文書の委員会での説明、委員会報告書の作成等を行っています。
- 2) 本年度は 2017 年 9 月 15～21 日、ロシアで第 28 回 PSC 委員会を開催しました。当該 PSC 委員会での主な決定事項等は、次のとおりです。
  - ① カリブ海 MOU から申請のあったオブザーバー加入を承認した。
  - ② 2014 年に導入された新検査基準の見直しを行い、コンテナ船の危険度を高める等の改正を承認した。
  - ③ 同年 5 月に開催されたパリ MOU・東京 MOU 合同関係閣僚会議の閣僚宣言をフォローアップするための作業部会を設置することを合意した。
  - ④ 2016 年に実施された「貨物固縛方法」に関する集中検査報告書を承認するとともに、2019 年集中検査のテーマを「非常時システム」とすることを合意した。
  - ⑤ 極海域における船舶運航のための国際基準等に関する PSC ガイドラインの制定や見直しを承認した。
  - ⑥ 技術協力プログラムが順調に実施されていることを確認するとともに、日本財団による財政支援に感謝の意を表明した。
  - ⑦ 次回会合について、中国において 2018 年 11 月に開催することとした。



第 28 回 PSC 委員会：ロシア

- 3) 次回の PSC 委員会までの間、インターネットを通じた作業部会が設置されますが、本財団はメーリングリストの整備、部会討議への助言等を行い、円滑に作業部会が進捗するよう支援しました。
- 4) 同年 5 月 3・4 日にカナダで開催されたパリ MOU・東京 MOU 合同関係閣僚会議、同年同月 22～26 日にポーランドで開催されたパリ MOU 政府間会合、同年 9 月 25～29 日に英国で開催された IMO 第 4 回条約等実施小委員会、同年 10 月 24～26 日に英国で開催された IMO・第 7 回 PSC ワークショップに出

席し、東京 MOU の活動状況等を報告するとともに、他地域 PSC 組織と情報交換を行いました

- 5) 同年 4 月 28 日、東京 MOU の 2016 年の活動状況を取りまとめた **Annual Report 2016** を公表しました。同 Report には PSC 委員会の決定事項、研修等の開催状況、加盟当局が行った PSC 検査データの概要、当該データに基づき作成した旗国、政府代行機関別の格付等が記載されており、本財団が原案を作成し加盟当局の了承を取り公表しています。
- 6) 同年 9 月 1 日～11 月 30 日に、「航行の安全」に関する集中検査を実施しました。東京 MOU とパリ MOU が共同で質問票を作成し、黒海、インド洋及び南米 PSC 地域組織も同じ質問票を使い集中検査を実施しました。
- 7) PSC 委員会で決定した基本方針に基づき PSC 標準マニュアルの改訂作業を進め、同年 7 月 28 日及び 2018 年 1 月 18 日に各国へ改訂版を送付しました。
- 8) 2017 年の PSC 検査データについて、2018 年 4 月下旬～5 月上旬に公表すべく分析を進めました。その概要は次のとおりですが、詳細データを別添 1 に示しています。
  - ① 入域船舶数は前年に比べ 0.8%増加しましたが、個別船検査隻数は 0.8%減少し、検査率は 2016 年 71%から 2017 年 70%に若干減少しました。
  - ② 航行停止処分率は、2016 年 3.44%から 2017 年 3.00%に減少しました。
  - ③ ブラックリスト掲載国は前年から 1 カ国増加し 11 カ国、グレイは前年から 2 カ国減少し 18 カ国、ホワイトは前年比 3 カ国増加し 37 カ国となりました。
- 9) 旗国の評価をするために毎年公表しているブラックグレーホワイトリストに関する評価手法について、パリ MOU で見直し作業が進められることになったため、当財団としても新たな評価手法について統計学専門家と共同研究を進めました。

## 2. 研修事業

- 1) アジア太平洋地域内で統一的に PSC を実施するため、本財団は PSC 職員に対する研修やセミナーを企画、実施しています。研修等の計画は、PSC 委員会の意見等を聞き 5 年毎に見直しています。また、アジア太平洋地域には途上国も多いため、当財団が研修等に参加する途上国職員や途上国へ派遣する専門家の旅費などを支援しています。
- 2) 加盟国の要請により下記の専門家派遣を実施し、本財団は専門家等の派遣費用を負担しました。
  - ① 2017 年 7 月 25～27 日、中国からタイへ専門家 2 名を派遣し、実務的研修（講義及び船上実習）を実施しました。25 名の研修生が参加しました。
  - ② 同年 10 月 13～24 日、カナダ 1 名、韓国 1 名及びニュージーランド 2 名の専門家をフィリピンへ派遣し、実務的研修（講義及び船上実習）を実施しました。26 名の研修生が参加しました。
  - ③ 同年 10 月 23～27 日、韓国からベトナムへ専門家 2 名を派遣し、実務的研修（講義及び船上実習）を実施しました。23 名の研修生が参加しました。
  - ④ 同年 11 月 13～17 日、日本からペルーへ専門家 2 名を派遣し、実務的研修（講義及び船上実習）を実施しました。9 名の研修生が参加しました。
  - ⑤ 同年 11 月 27 日～12 月 1 日、日本からフィジーへ専門家 2 名を派遣し、実務的研修（講義及び船上実習）を実施しました。8 名の研修生が参加しました。
- 3) 同年 7 月 10 日から 5 日間、中国でセミナーを国際海事機関（IMO）と共同開催しました。「航行の安全」に関する集中検査ガイドライン、バラスト水管理に関する PSC 等に関する講義、旗国から抗議があった事案等に関するケーススタディーなどを行いました。25 カ国・地域から 35 名が参加しました。本財団は開催費用の大半及び域内途上国参加者 10 名の旅費等、IMO は太平洋島嶼国 4 名の旅費及び開催費用の一部を負担しました。
- 4) 同年 8 月 22 日～9 月 16 日、日本で一般研修を実施しました。前半 2 週間は横浜で講義を行い、その後 8 か所の地方運輸局で船上実習を行いました。域内 10 カ国、域外 7 カ国から合計 17 名が参加しました。本財団は域内途上国からの参加者 7 名の旅費等、IMO は域外からの参加者 6 名の旅費等を負担しました。
- 5) 同年 11 月 13 日から 4 日間、韓国で「バラスト水管理条約」に関する専門研修を実施し、18 カ国・地域から 30 名が参加しました。本財団は域内途上国参加者 10 名の旅費や開催費用の一部、IMO は開催費用の大半を負担しました。
- 6) 東京 MOU 域内 PSC の調和を促進するために検査官交流を行っており、本年度は 9 件の検査官交流（豪州→ペルー（2017 年 6 月 12～23 日）、チリ→香港（同年 8 月 21 日～9 月 1 日）、カナダ→韓国（同年 10 月 16～27 日）、ロシア→タイ（同年 10 月 16～27 日）、中国→豪州（同年 10 月 17～19 日）、ペルー→豪州（同年 10 月 23 日～11 月 3 日）、香港・シンガポール→日本（同年 11

月 20 日～12 月 1 日)、日本→ニュージーランド (同年 12 月 4～15 日)、ニュージーランド→フィリピン (2018 年 1 月 8～19 日)) を実施しました。本財団は、中国→豪州を除く検査官の派遣費用を負担しました。



日本での一般研修 (講義及び船上実習)



中国でのセミナー



韓国での専門研修

### 第3章 管理業務

#### 1. 理事会及び評議員会

本年度の理事会及び評議員会の開催状況は、次のとおりです。

- 1) 第7回評議員会（書面）：2017年4月21日、議題＝評議員選定委員会の委員の選定
- 2) 第13回理事会：2017年6月1日、議題＝平成28年度事業報告及び決算報告、定時評議員会の開催、職務執行状況
- 3) 第8回評議員会：2017年6月19日、議題＝役員の選任及び解任、退職する評議員及び役員に対する退職慰労金の支給、平成28年度事業報告及び決算報告、評議員の選任に関する報告
- 4) 第14回理事会：2018年3月12日、平成30年度事業計画及び予算、規程の制定、職務執行状況

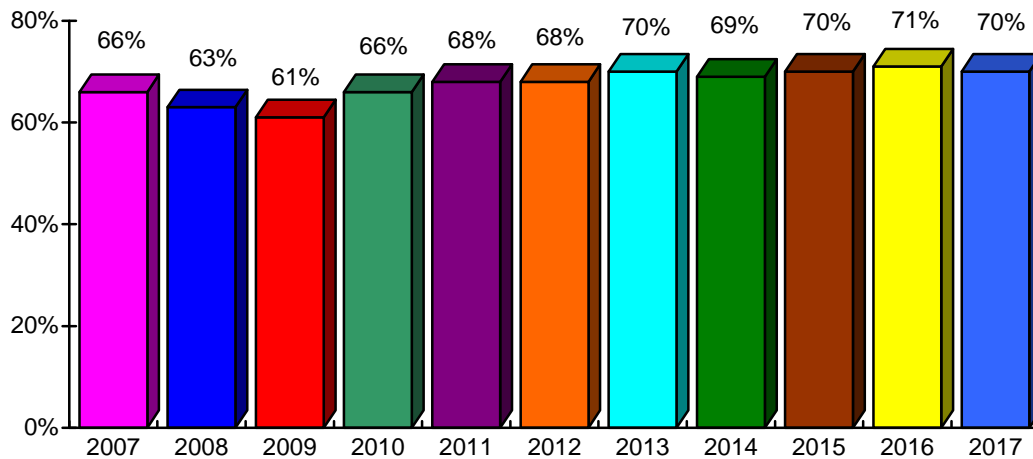
#### 2. 事務局組織

2017年度末の本財団組織図は、別添2のとおりです。

#### 3. 財産等

- 1) 2017年度末の基本財産は5千万円であり、長期国債で運用し満期保有目的債券としています。本財団の最も大きな財産である研修事業基金（2017年度末簿価：約22億78百万円）は、各種債券、公社債投信及び銀行預金で運用し時価評価をしています。
- 2) 本財団の主な収入は、各国拠出金、日本財団助成金及び研修事業基金運用益です。

## 東京 MOU 域内の検査率

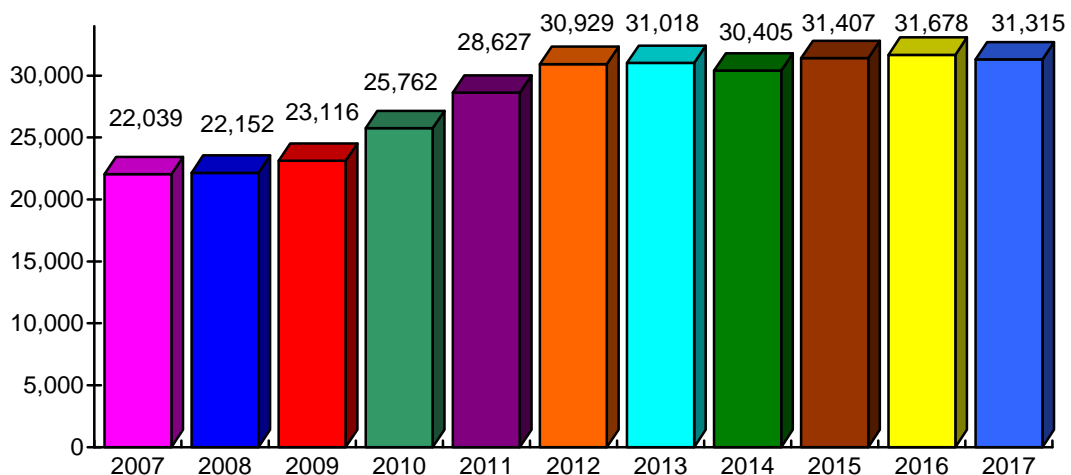


検査率 = 個別検査隻数 / 個別入域船舶数 (%)

個別検査隻数：同一船を 2 回以上検査しても 1 隻

個別入域船舶数：同一船が 2 回以上入域しても 1 隻

## 検査件数



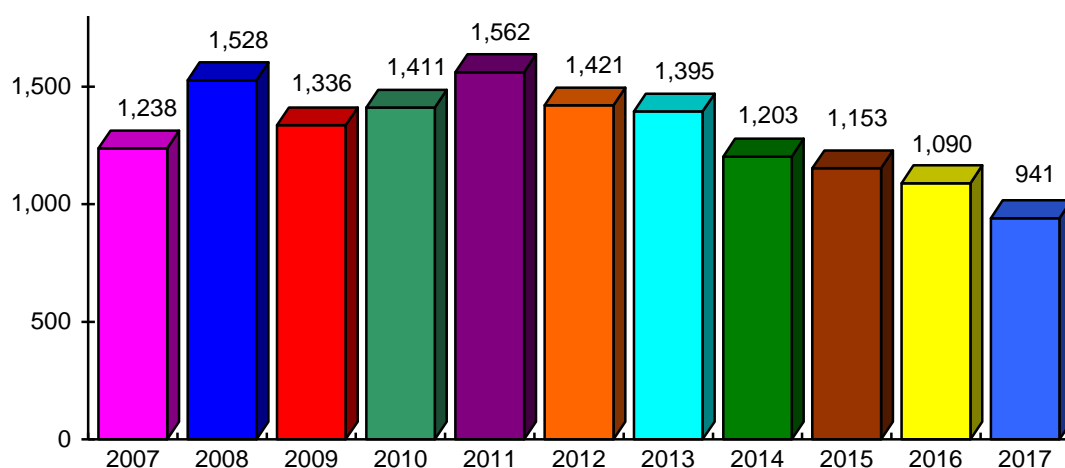
検査件数：1 隻の船舶を 2 回検査した場合は 2 件とカウントする。

(解説)

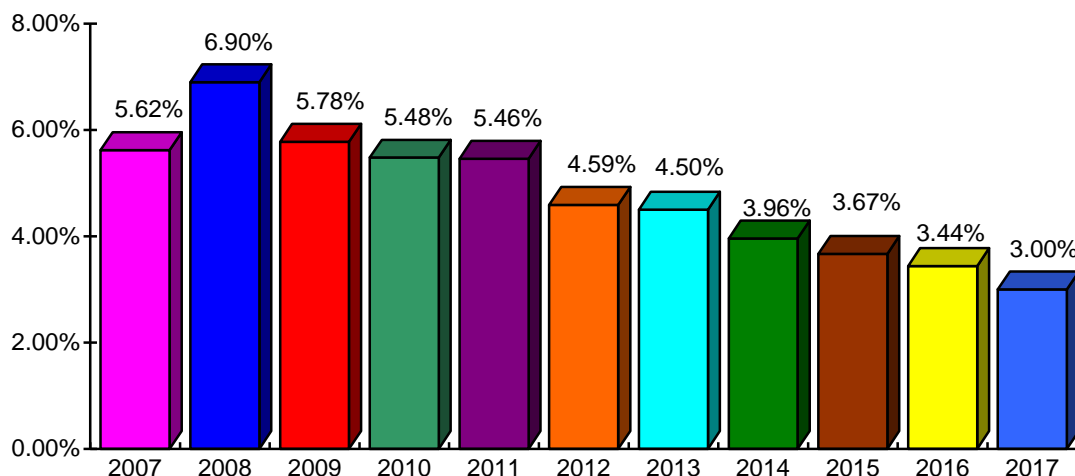
入域船舶数は前年に比べ 0.8% 増加 (2016 年 24,747 隻 → 2017 年 24,939 隻) したが、個別船検査隻数は 0.8% 減少 (2016 年 17,503 隻 → 2017 年 17,369 隻) し、検査率は 2016 年 71% から 2017 年 70% に若干減少した。また、検査件数は 1.1% 減少 (2016 年 31,678 件 → 2017 年 31,315 件) した。各国の検査件数は基本的にほぼ横ばいの傾向にある。



### 航行停止処分件数



### 航行停止処分率



(解説)

航行停止処分件数及び航行停止処分率は、前年に比べ減少した。航行停止処分件数について、豪州で 80 件（前年比 33%）、中国で 50 件（前年比 12%）減少した。一方、パリ MOU の航行停止処分率は、ほぼ横ばいとなっている（2016 年 3.84%→2017 年 3.82%）。

2017年旗国格付

ブラックーグレイーホワイトリスト

Flag	Inspections 2015-2017	Detentions 2015-2017	Black to Grey Limit	Grey to White Limit	Excess Factor
<b>BLACK LIST</b>					
Fiji	42	14	6		5.90
Tanzania	148	32	16		4.10
Mongolia	332	53	31		2.93
Togo	781	110	67		2.70
Cambodia	1,755	234	141		2.68
Niue	157	25	17		2.48
Indonesia	589	77	52		2.29
Sierra Leone	1,011	123	85		2.18
Palau	159	23	17		2.07
Korea, Democratic People's Republic	704	83	61		1.96
Micronesia, Federated States of	369	45	34		1.85
<b>GREY LIST</b>					
Dominica	45	4	6	0	0.63
Barbados	46	4	7	0	0.62
Saint Kitts and Nevis	73	6	9	1	0.61
Cook Islands	101	8	12	2	0.60
Jamaica	107	7	12	3	0.45
Kiribati	490	30	44	25	0.28
Curacao	55	2	7	0	0.24
Sri Lanka	39	1	6	0	0.22
Belize	2,134	138	169	129	0.21
Vanuatu	265	14	26	11	0.19
Croatia	82	3	10	1	0.18
India	256	13	25	11	0.16
Turkey	142	6	15	4	0.14
Saudi Arabia	128	5	14	4	0.12
Iran	133	5	15	4	0.10
Bangladesh	151	6	16	5	0.10
Switzerland	109	3	13	3	0.03
Kuwait	68	1	9	1	0.03

WHITE LIST				
Philippines	614	31	32	-0.07
Taiwan, China	324	14	15	-0.08
Italy	339	14	16	-0.18
Gibraltar (UK)	193	6	7	-0.27
Sweden	59	0	0	-0.40
Thailand	814	34	45	-0.49
France	126	2	4	-0.60
Luxembourg	100	1	2	-0.64
Russian Federation	909	34	50	-0.68
Netherlands	314	8	14	-0.79
Antigua and Barbuda	1,270	46	73	-0.79
Cyprus	1,558	57	92	-0.82
Malta	3,084	119	192	-0.84
Malaysia	579	17	30	-0.86
Viet Nam	2,252	78	137	-0.94
Saint Vincent and the Grenadines	228	4	9	-0.95
Belgium	85	0	2	-0.96
Isle of Man (UK)	634	17	33	-0.98
Germany	362	7	17	-1.11
Bermuda (UK)	222	3	9	-1.13
Greece	1,045	27	59	-1.15
Liberia	7,314	233	476	-1.15
Panama	25,321	851	1,705	-1.15
United States of America	148	1	5	-1.20
Tuvalu	353	5	16	-1.34
Denmark	536	9	27	-1.36
Cayman Islands (UK)	317	4	14	-1.37
Portugal	510	8	26	-1.39
United Kingdom (UK)	553	9	28	-1.39
Bahamas	2,254	51	137	-1.39
Marshall Islands	7,141	166	464	-1.46
Japan	599	7	31	-1.61
Norway	726	9	39	-1.62
Hong Kong, China	9,473	88	622	-1.96
Singapore	6,863	59	445	-1.98
Korea, Republic of	4,304	31	273	-2.03
China	1,981	7	119	-2.42

参考：2017年パリ MOU 旗国格付

Rank 2017	Flag	Nbinsp	NbDet	Limit B<G	Limit G>W	Excess Factor	WGB	RISK
1	France	258	0	25	11	-1.89	White	
2	Cayman Islands, UK	438	2	40	21	-1.84	White	
3	Netherlands	3028	35	236	188	-1.83	White	
4	Denmark	1189	12	98	68	-1.79	White	
5	United Kingdom	1194	13	99	69	-1.78	White	
6	Norway	1429	17	116	84	-1.75	White	
7	Italy	1087	12	90	62	-1.74	White	
8	Bahamas	2239	30	177	138	-1.73	White	
9	Isle of Man, UK	694	7	60	37	-1.71	White	
10	Singapore	1887	27	151	113	-1.68	White	
11	Sweden	318	2	30	14	-1.66	White	
12	Marshall Islands	4022	68	309	254	-1.65	White	
13	Hong Kong, China	1997	31	159	121	-1.64	White	
14	Belgium	220	1	22	9	-1.59	White	
15	Germany	588	8	52	30	-1.52	White	
16	Ireland	120	0	13	3	-1.41	White	
17	Cyprus	1921	44	153	118	-1.38	White	
18	Gibraltar, UK	718	14	62	38	-1.32	White	
19	Liberia	4105	110	315	260	-1.29	White	
20	Finland	408	7	38	20	-1.26	White	
21	Luxembourg	199	2	20	8	-1.24	White	
22	China	198	2	20	7	-1.24	White	
23	Malta	4881	135	357	298	-1.23	White	
24	Greece	903	22	76	50	-1.18	White	
25	Bermuda, UK	243	4	24	10	-1.04	White	
26	Estonia	90	0	11	2	-1.04	White	
27	Japan	117	1	13	3	-0.88	White	
28	Philippines	150	2	18	5	-0.86	White	
29	Antigua and Barbuda	2866	110	224	178	-0.84	White	
30	Portugal	762	28	65	41	-0.76	White	
31	Poland	102	1	12	2	-0.67	White	
32	Latvia	100	1	12	2	-0.64	White	
33	Barbados	341	11	32	16	-0.55	White	
34	Saudi Arabia	59	0	8	0	-0.40	White	
35	Panama	6110	334	461	394	-0.34	White	
36	Korea, Republic of	82	1	10	1	-0.28	White	
37	Croatia	105	2	12	3	-0.26	White	
38	Faroe Islands, DK	251	9	25	10	-0.24	White	
39	Turkey	1133	59	94	65	-0.19	White	
40	Spain	156	5	17	5	-0.05	White	
41	Kazakhstan	66	1	9	1	0.04	Grey	
42	Algeria	83	2	10	1	0.06	Grey	
43	United States of America	203	9	21	8	0.10	Grey	
44	Russian Federation	1182	71	98	68	0.11	Grey	
45	Thailand	53	1	7	0	0.12	Grey	
46	Lithuania	123	5	14	3	0.15	Grey	
47	Switzerland	119	6	13	3	0.27	Grey	
48	Libya	32	1	5	0	0.28	Grey	
49	Egypt	43	2	6	0	0.34	Grey	
50	Saint Vincent and the Grenadines	557	36	49	29	0.36	Grey	
51	Morocco	57	3	8	0	0.37	Grey	
52	Iran, Islamic Republic of	104	6	12	2	0.37	Grey	
53	Curacao	119	7	13	3	0.37	Grey	
54	Azerbaijan	45	3	6	0	0.48	Grey	
55	Bulgaria	33	3	5	0	0.62	Grey	
56	Lebanon	74	7	9	1	0.72	Grey	
57	Tuvalu	34	4	5	0	0.77	Grey	
58	Albania	66	7	9	1	0.80	Grey	
59	Tunisia	40	5	6	0	0.85	Grey	
60	India	68	8	9	1	0.91	Grey	
61	Belize	399	40	37	19	1.24	Black	Medium Risk
62	Cook Islands	414	43	38	20	1.36	Black	Medium Risk
63	Vanuatu	251	28	25	10	1.38	Black	Medium Risk
64	Cambodia	161	22	17	5	1.85	Black	Medium Risk
65	Saint Kitts and Nevis	266	35	26	11	1.98	Black	Medium Risk
66	Sierra Leone	292	46	28	13	2.80	Black	Medium to High
67	Ukraine	94	18	11	2	2.98	Black	Medium to High
68	Palau	180	36	19	6	3.77	Black	High Risk
69	Moldova, Republic of	480	89	43	24	3.90	Black	High Risk
70	Tanzania United Rep.	259	53	25	11	4.16	Black	Very High Risk
71	Togo	422	85	39	20	4.34	Black	Very High Risk
72	Comoros	282	60	27	12	4.46	Black	Very High Risk
73	Congo, Republic of the	104	28	12	2	5.33	Black	Very High Risk

(解説)

- 1) ブラックリストについて、東京 MOU ではフィジー、パリ MOU ではウクライナが新たに掲載された。
- 2) 継続的にブラックリストに入っていたカンボジアが 2015 年半ばに便宜置籍船の登録を停止した影響で、東京 MOU でのカンボジア籍船の検査件数は 2016 年に前年比 853 件 (65%) 減少し、2017 年には 2 件だけとなった。一方、フィジーやミクロネシア等の検査件数が増加した。フィジー及びミクロネシア政府からは、国籍証書が偽造されているとの通報があり、加盟各国に注意喚起している。
- 3) パリ及び東京 MOU とも、ホワイトリスト掲載国の数がブラックリスト掲載国の数に比し圧倒的に多くなっている。この要因は、現在の評価方法が 1990 年代後半に定められ、現在よりも高い当時の航行停止処分率 (9%台) を基準としているためである。このため、現在の航行停止処分率 (3%台) などを考慮した評価方法の見直しを進めており、また、この格付表が業界内で PSC 検査の際のターゲティングを決定するという本来の目的とは異なる使われ方をしていることを憂慮し、ブラックグレーホワイトリストの形式での公表を止めることも検討されている。

2017年東京 MOU 政府代行機関格付

Recognized organization (RO)	No. of overall inspections 2015-2017	No. of RO responsible detentions 2015-2017	Low/medium Limit	Medium/high Limit	Excess factor	Performance level
Sing-Lloyd	392	11	13	3	0.81	Medium
Cosmos Marine Bureau	241	7	9	1	0.77	
Panama Shipping Registrar Inc.	204	5	8	0	0.62	
SingClass International Pte Ltd	224	5	8	1	0.57	
Ship Classification Malaysia	78	1	4	0	0.39	
Polski Rejestr Statkow	97	1	5	0	0.33	
International Ship Classification	759	12	22	8	0.27	
Croatian Register of Shipping	129	1	6	0	0.25	
Dromon Bureau of Shipping	167	1	7	0	0.16	
Global Marine Bureau	321	2	11	2	0.02	
International Register of Shipping	471	4	15	4	0.01	
Union Bureau of Shipping	2,036	27	52	30	-0.16	High
Universal Maritime Bureau	947	9	27	11	-0.32	
Panama Register Corporation	212	0	8	0	-0.34	
Korea Classification Society	807	7	23	9	-0.34	
Biro Klasifikasi Indonesia	315	1	11	2	-0.36	
Overseas Marine Certification Services	1,360	10	36	18	-0.74	
Indian Register of Shipping	283	0	10	1	-0.75	
Isthmus Bureau of Shipping	1,602	12	42	22	-0.77	
Panama Maritime Documentation Services	1,261	8	34	17	-0.83	
CR Classification Society	791	2	23	9	-1.24	
Intermaritime Certification Services, S.A.	1,943	8	50	28	-1.30	
Vietnam Register	2,343	5	59	35	-1.65	
Bureau Veritas	10,916	19	243	194	-1.79	
Russian Maritime Register of Shipping	1,311	1	35	17	-1.79	
Nippon Kaiji Kyokai	32,324	42	688	605	-1.86	
Lloyd's Register	14,297	9	314	258	-1.92	
RINA Services S.p.A.	2,843	1	70	44	-1.92	
American Bureau of Shipping	10,956	5	244	195	-1.94	
DNV GL AS	28,429	13	608	529	-1.95	
Korean Register of Shipping	9,543	3	214	168	-1.96	
China Classification Society	7,594	0	172	131	-1.99	

参考：2016年パリMOU政府代行機関格付

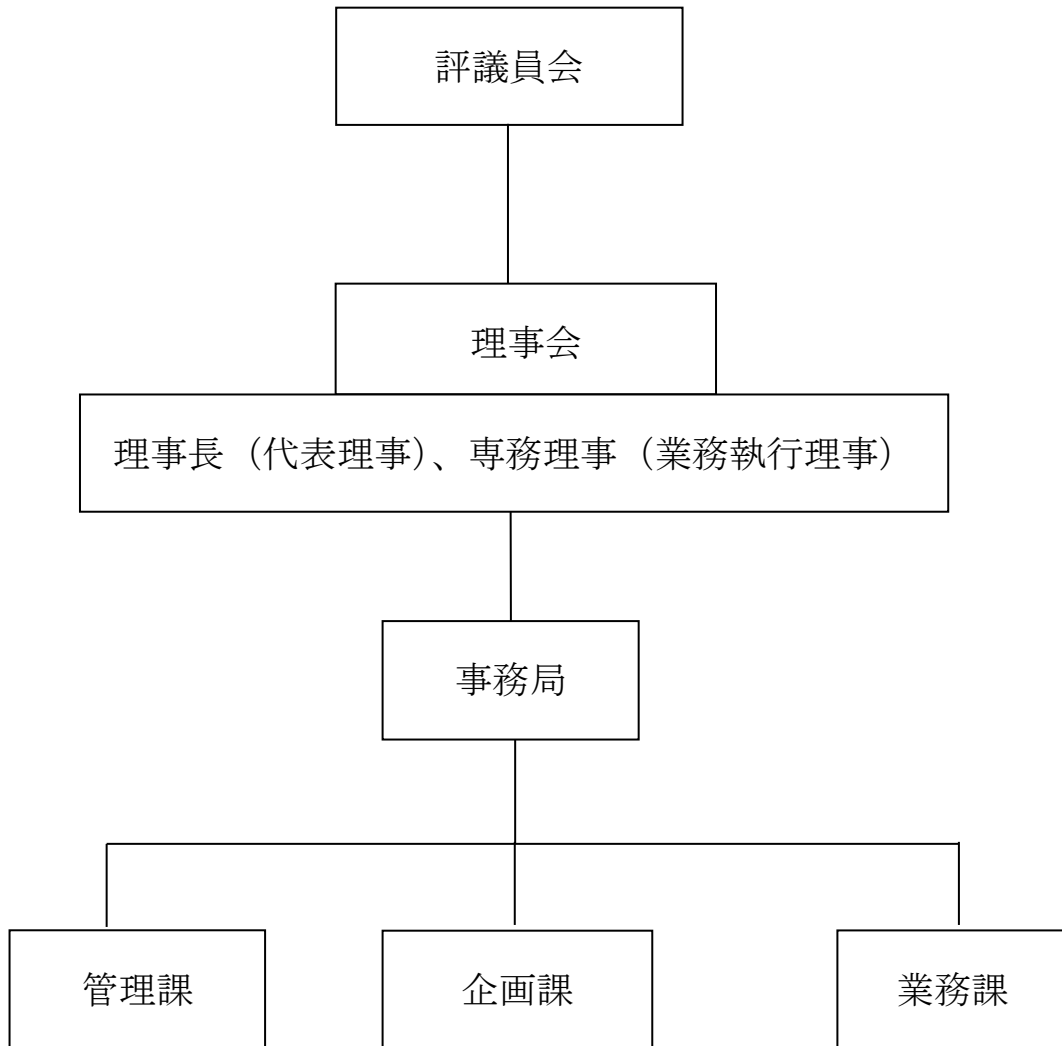
RO	RO abbrev	Inspections	Detentions	Low/medium limit	Medium/high limit	Excess Factor	Performance level
American Bureau of Shipping	ABS	5,866	2	135	99	-1.95	High
Lloyd's Register	LR	12,554	9	277	225	-1.91	High
DNV GL AS	DNVGL	16,014	16	350	291	-1.88	High
Bureau Veritas	BV	11,376	23	253	202	-1.76	High
Korean Register of Shipping	KRS	1,142	1	31	15	-1.75	High
Registro Italiano Navale	RINA	4,071	10	97	66	-1.65	High
Nippon Kaiji Kyokai	NKK	8,305	24	188	145	-1.64	High
China Classification Society	CCS	834	1	24	10	-1.58	High
Turkish Lloyd	TL	525	1	16	5	-1.00	High
Russian Maritime Register of Shipping	RMRS	3,033	22	74	47	-0.96	High
Phoenix Register of Shipping	PHRS	353	2	12	2	-0.10	High
International Naval Surveys Bureau	INSB	576	6	18	5	0.04	Medium
Indian Register of Shipping	IRS	95	0	5	0	0.15	Medium
Polski Rejestr Statkow (Polish Register of Shipping)	PRS	484	6	15	4	0.17	Medium
Panama Maritime Documentation Services	PMDS	153	1	6	0	0.19	Medium
Croatian Register of Shipping	CRS	146	1	6	0	0.21	Medium
Panama Register Corporation	PRC	66	0	4	0	0.22	Medium
Isthmus Bureau of Shipping, S.A.	IBS	125	2	6	0	0.42	Medium
Other	OTHER	324	6	11	2	0.45	Medium
Macosnar Corporation	MC	98	2	5	0	0.51	Medium
Dromon Bureau of Shipping	DBS	477	10	15	4	0.54	Medium
Overseas Marine Certification Services	OMCS	83	2	4	0	0.57	Medium
Maritime Lloyd - Georgia	ML	145	5	6	0	0.82	Medium
Mediterranean Shipping Register	MSR	104	4	5	0	0.84	Medium
Maritime Bureau of Shipping	MBS	102	4	5	0	0.85	Medium
Register of Shipping (Albania)	RSA	65	3	4	0	0.86	Medium
Intermaritime Certification Services, ICS Class	ICS	152	6	6	0	0.94	Medium
Bulgarian Register of Shipping	BRS	257	9	9	1	0.96	Medium
Columbus American Register	COLAMREG	69	4	4	0	1.19	Low
Venezuelan Register of Shipping	VRS	159	7	7	0	1.19	Low
National Shipping Adjuster Inc.	NASHA	177	9	7	0	1.78	Low
International Register of Shipping	IS	298	16	10	1	2.46	Very Low
Shipping Register of Ukraine	SRU	556	28	17	5	2.64	Very Low
Panama Shipping Registrar Inc.	PSR	75	6	4	0	2.74	Very Low

(解説)

- 1) 東京MOUでは、Lowが無い。一方、パリMOUではLowが3機関、Very Lowが3機関（前年はLowが3機関のみ）となった。パリMOUで低評価の機関が増加しているが、パリMOUの航行停止処分率が増加傾向（2015年3.42%、2016年3.84%、2017年3.82%）にあることが要因と考えられる。この評価には、3年間のデータを用いられている。

組織図

平成 30 年 3 月 31 日現在





#### <附属明細書の作成について>

上記の事業報告に関して、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定されている附属明細書によりその内容を補足すべき重要な事項はありませんので、附属明細書は作成していません。